

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県業務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第11週の発生動向

□ 全数報告の感染症（11 週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。

4 類感染症：つつが虫病 1 例。5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 4 例、百日咳 35 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	延岡	50歳代	男	結核性胸膜炎	咳
		小林	80歳代	女	肺結核	発熱
		日向	80歳代	男	肺結核	咳、痰
4類	つつが虫病	宮崎市	80歳代	男	—	発熱、発疹、血小板減少
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	都城	50歳代	女	—	発熱、意識障害、肺炎、菌血症
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
			30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
		都城	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし

	疾患名	報告 保健所	報告数	年齢群				症状
				5～9歳	10歳代	40歳代	60歳代	
5類	百日咳	宮崎市	6例	1	5			持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタカート、ウープ、空咳、痰がらみ咳
		都城	5例	2	3			
		延岡	9例		9			
		日南	5例	1	3		1	
		高鍋	2例		2			
		日向	4例	2	2			
		中央	4例	1	2	1		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,105 人(定点当たり 29.0)で、前週比 113%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 163 人(2.8)で、前週比 95%とほぼ横ばいであった。高千穂(8.0)、高鍋(4.8)、延岡(3.9)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満と 60 歳以上がそれぞれ全体の約 3 割ずつを占めた。

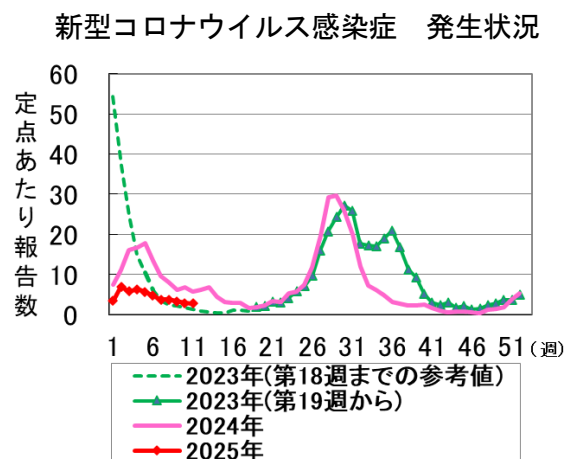
【感染性胃腸炎】

報告数は 650 人(18.1)で、前週比 121%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.1)の約 1.8 倍であった。宮崎市(24.8)、小林(23.0)、都城(19.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 8 歳が全体の約 7 割を占めた。

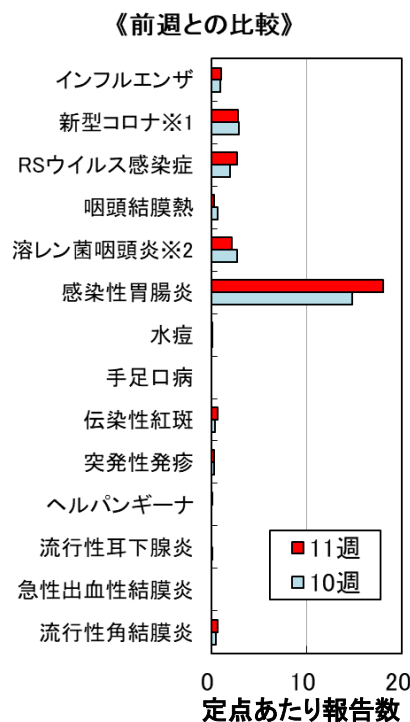
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 77 人(2.1)で、前週比 78%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.6)の約 0.8 倍であった。中央(8.0)、日南(5.3)、延岡(3.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 4 歳から 8 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

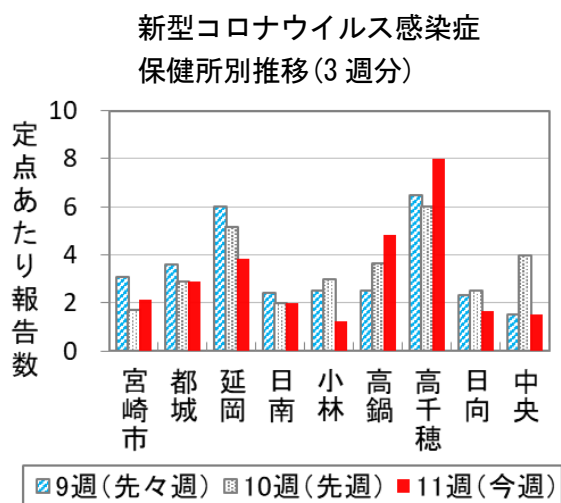


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

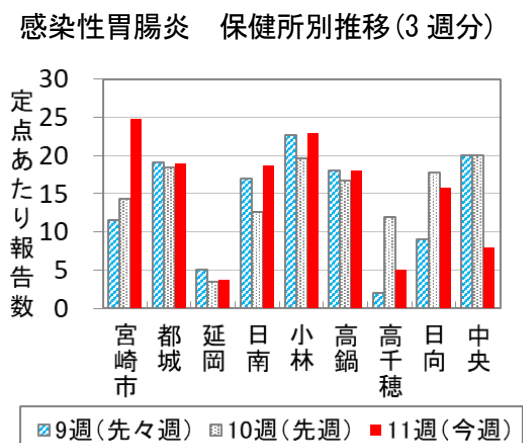
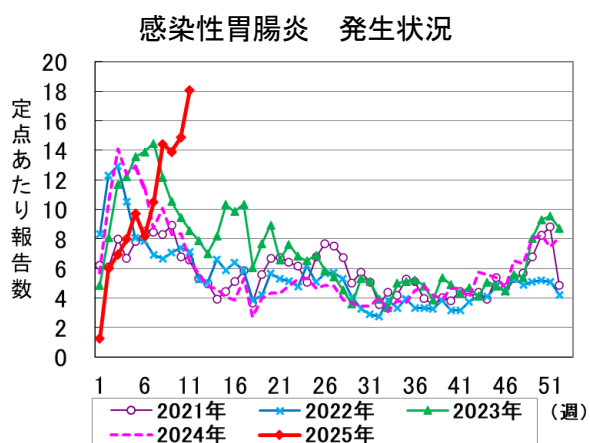
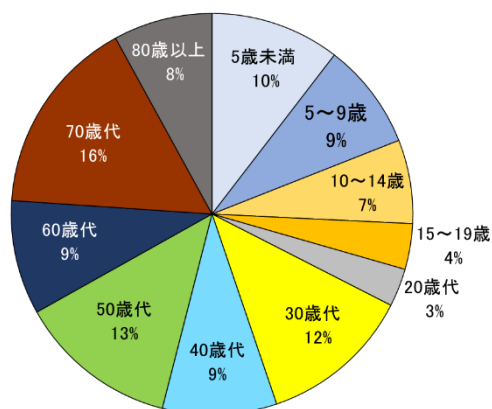


※1 新型コロナウイルス感染症

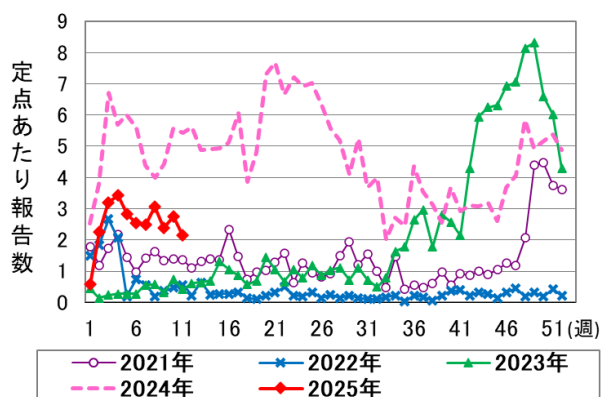
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



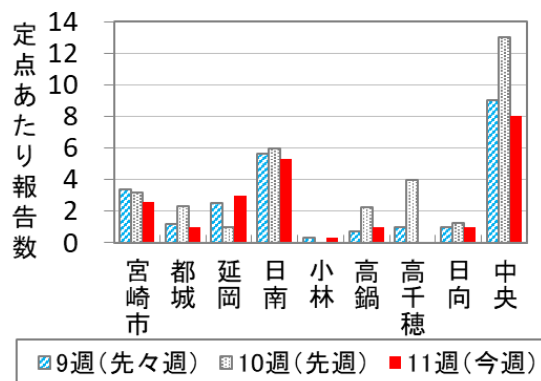
新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第11週)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点当たり0.1)で、前週は報告なしであった。延岡保健所から報告があった。年齢は5～9歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	感染性胃腸炎(24.8)
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(23.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)、 水痘(1.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)

＊流行注意報レベル基準値＊

- ・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和7年3月17日までに検出）

★細菌 報告なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Influenza virus A H1pdm09	0～4歳	女	2025.02.10	インフルエンザA型、40.0℃、咽頭炎	鼻汁	2025.03.13

🇯🇵 全国 2025 年第 10 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	206 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	11 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	12 例	A型肝炎	5 例	オウム病	1 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	8 例	レジオネラ症	31 例
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	7 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	26 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	32 例	後天性免疫不全症候群	5 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	67 例	水痘(入院例)	8 例
	梅毒	153 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	482 例	風しん	1 例
	麻しん	12 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 109%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 20,041 人(4.1)で前週比 92%と減少した。佐賀県(6.6)、長野県(6.5)、栃木県(6.1)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満と 60 歳以上がそれぞれ全体の約 3 割ずつを占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 35,553 人(11.4)で前週比 116%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.2)の約 1.8 倍であった。大分県(21.4)、愛媛県(20.1)、香川県(19.9)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

月報告対象疾患の発生動向 <2025 年 2 月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は38人(2.9)で、前月比127%と増加した。また、昨年2月(3.2)の約0.9倍であった。

《疾患別》

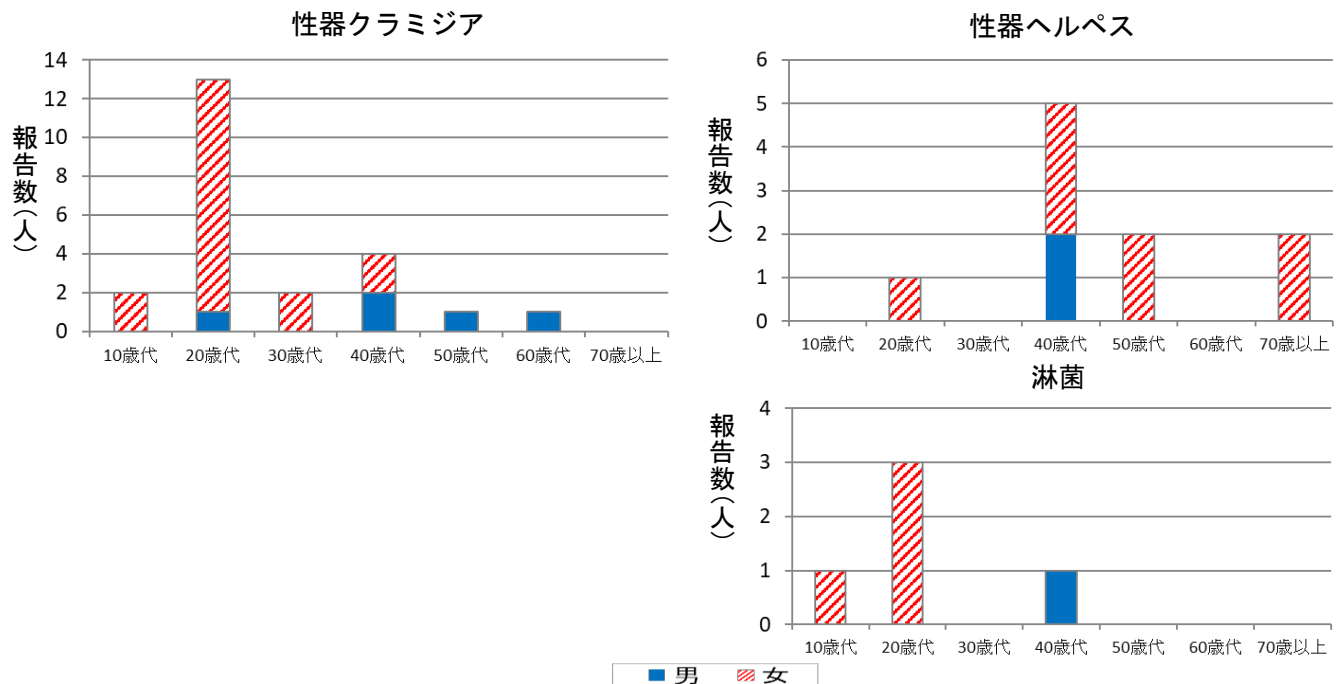
○性器クラミジア感染症：報告数23人(1.8)で、前月の約1.4倍、昨年2月の約0.9倍であった。

20歳代が全体の約6割を占めた。(男性5人・女性18人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数10人(0.77)で、前月の約1.7倍、昨年2月の2倍であった。
(男性2人・女性8人)

○尖圭コンジローマ：報告なし。

○淋菌感染症：報告数5人(0.38)で、前月と同率、昨年2月の約0.7倍であった。
(男性1人・女性4人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は3,731人(3.8)で、前月比88%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,018人(2.1)で前月比91%、性器ヘルペスウイルス感染症741人(0.76)で前月比93%、尖圭コンジローマ441人(0.45)で前月比88%、淋菌感染症531人(0.54)で前月比75%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は20人(2.9)で、前月比67%と減少した。また、昨年2月(2.6)の約1.1倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数19人(2.7)で、前月の約0.6倍、昨年2月の約1.1倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、昨年2月と同率であった。
(前月報告なし)

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,339人(2.8)で、前月比83%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,256人(2.6)で前月比84%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症78人(0.16)で前月比67%、薬剤耐性緑膿菌感染症5人(0.01)で前月比100%であった。

疾病名		第10週	第11週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	55	59	3	6	29		2	3	16		
	定点当り	0.95	1.02	0.19	0.60	4.14	0.00	0.50	0.50	8.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	171	163	34	29	27	10	5	29	16	10	3
	定点当り	2.95	2.81	2.13	2.90	3.86	2.00	1.25	4.83	8.00	1.67	1.50
RSウイルス感染症	報告数	71	99	33	25	7	7	1	8		16	2
	定点当り	1.97	2.75	3.30	4.17	1.75	2.33	0.33	2.00	0.00	4.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	23	12	7		1	2		2			
	定点当り	0.64	0.33	0.70	0.00	0.25	0.67	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	99	77	26	6	12	16	1	4		4	8
	定点当り	2.75	2.14	2.60	1.00	3.00	5.33	0.33	1.00	0.00	1.00	8.00
感染性胃腸炎	報告数	535	650	248	114	15	56	69	72	5	63	8
	定点当り	14.86	18.06	24.80	19.00	3.75	18.67	23.00	18.00	5.00	15.75	8.00
水 痘	報告数	3	4	3								1
	定点当り	0.08	0.11	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	14	23	15	5	2	1					
	定点当り	0.39	0.64	1.50	0.83	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	12	12	5	2		1	1			1	2
	定点当り	0.33	0.33	0.50	0.33	0.00	0.33	0.33	0.00	0.00	0.25	2.00
ヘルパンギーナ	報告数		1				1					
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3										
	定点当り	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	4	3	1							
	定点当り	0.50	0.67	1.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		1			1						
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

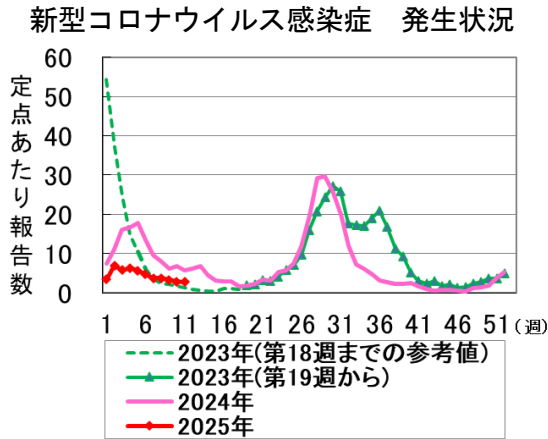
●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週 ～11週 保健所受理分)

2類感染症	結核	28例(3)				
4類感染症	E型肝炎	2例	つつが虫病	5例(1)	レジオネラ症	2例
5類感染症	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	8例(1)	梅毒	22例(4)	播種性クリプトコックス症	1例
	破傷風	1例	百日咳	167例(35)		

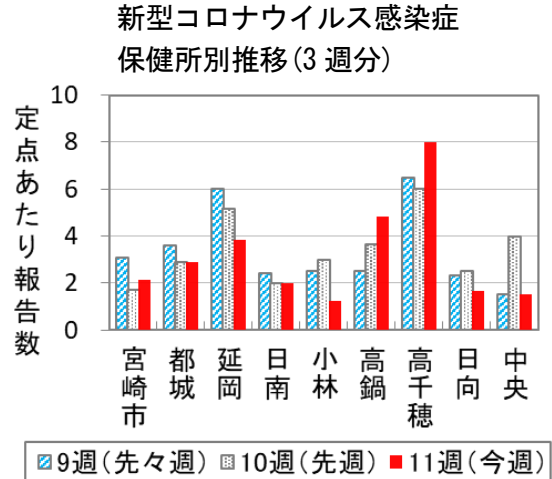
新型コロナウイルス感染症情報《県内第 11 週、全国第 10 週(再掲)》

□ 県内第 11 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

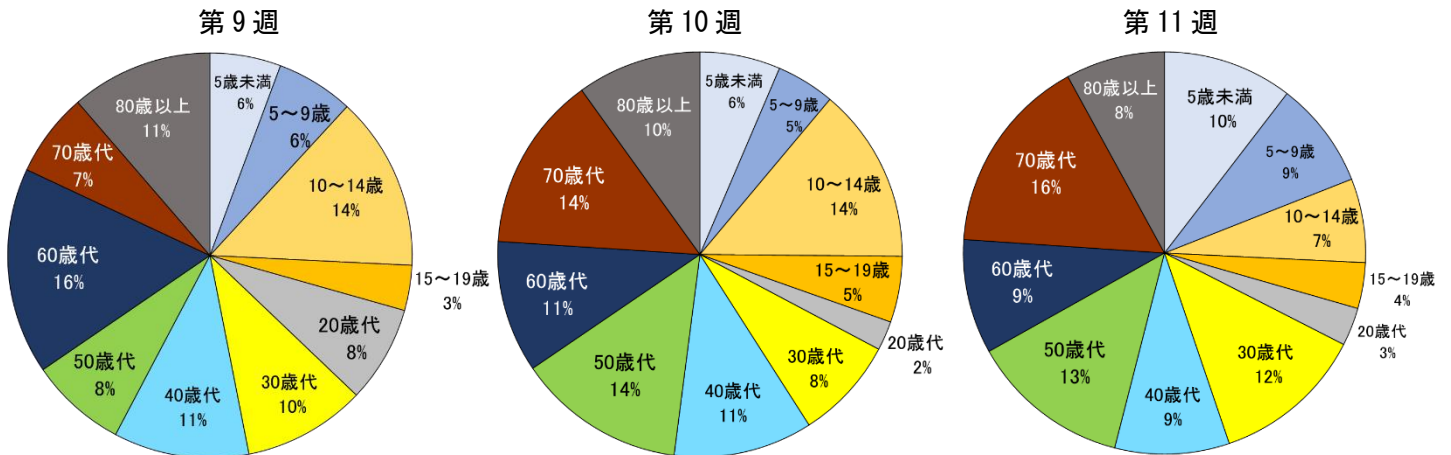
3 月 10 日～3 月 16 日までの 1 週間で 163 人(2.8)の報告があり、前週比 95%とほぼ横ばいであった。高千穂(8.0)、高鍋(4.8)、延岡(3.9)保健所管内からの報告が多かった。



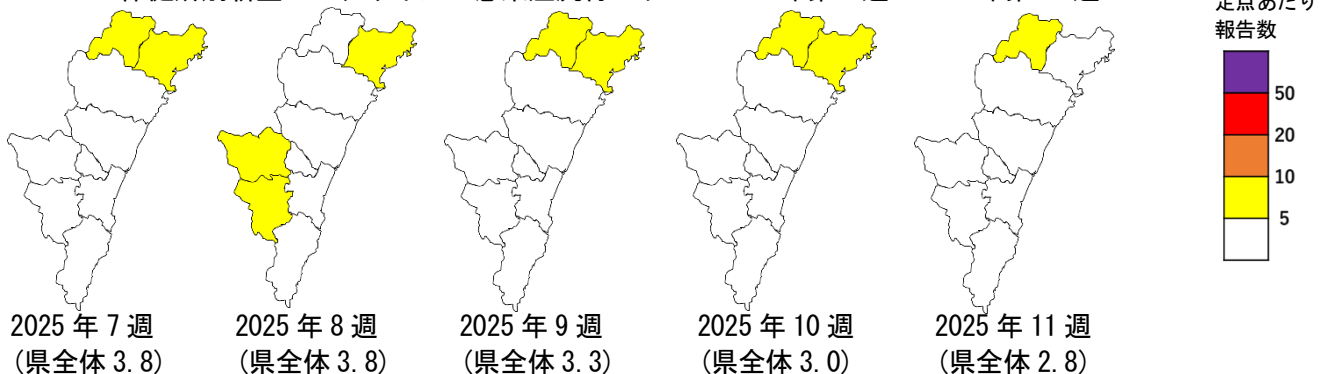
※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2025 年第 7 週～2025 年第 11 週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第 10 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

3 月 3 日～3 月 9 日までの 1 週間で 20,041 人(4.1)の報告があり、前週比 92%と減少した。佐賀県(6.6)、長野県(6.5)、栃木県(6.1)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満と 60 歳以上がそれぞれ全体の約 3 割ずつを占めた。